

# ひらの青春生活応援事業について

- 高校生に対し、**高校卒業**を目指しまた**卒業後の就労・社会生活について安定した将来設計**ができるようにするために**家庭訪問等を中心としたアウトリーチ**をする
- 対象生徒や**その家族の抱える課題**を早期に把握して教育、福祉等関係機関とともに将来への安定した自立を支援

→ 出口支援



# 支援の中身

---

・面談は図書室、学校の相談室、区役所、ファミレス、公園、居場所カフェ内などどこでも

---

・月1回、隔週の面談を通じて今後の道筋（転学や進級、卒業後の進路）を考えていく。

---

・本人に会えず、親面談のみのケースもある

---



# 提携校7校

生野工業高校

※SSWさんとの連携

長吉高校

(なかカフェ併設)

平野高校

東住吉高校

東住吉総合高校

桃谷高校

※転学先になることが多い

大阪わかば高校

(2020年より校内カフェ)



# 区役所内連携

**1階**  
くらすぽ

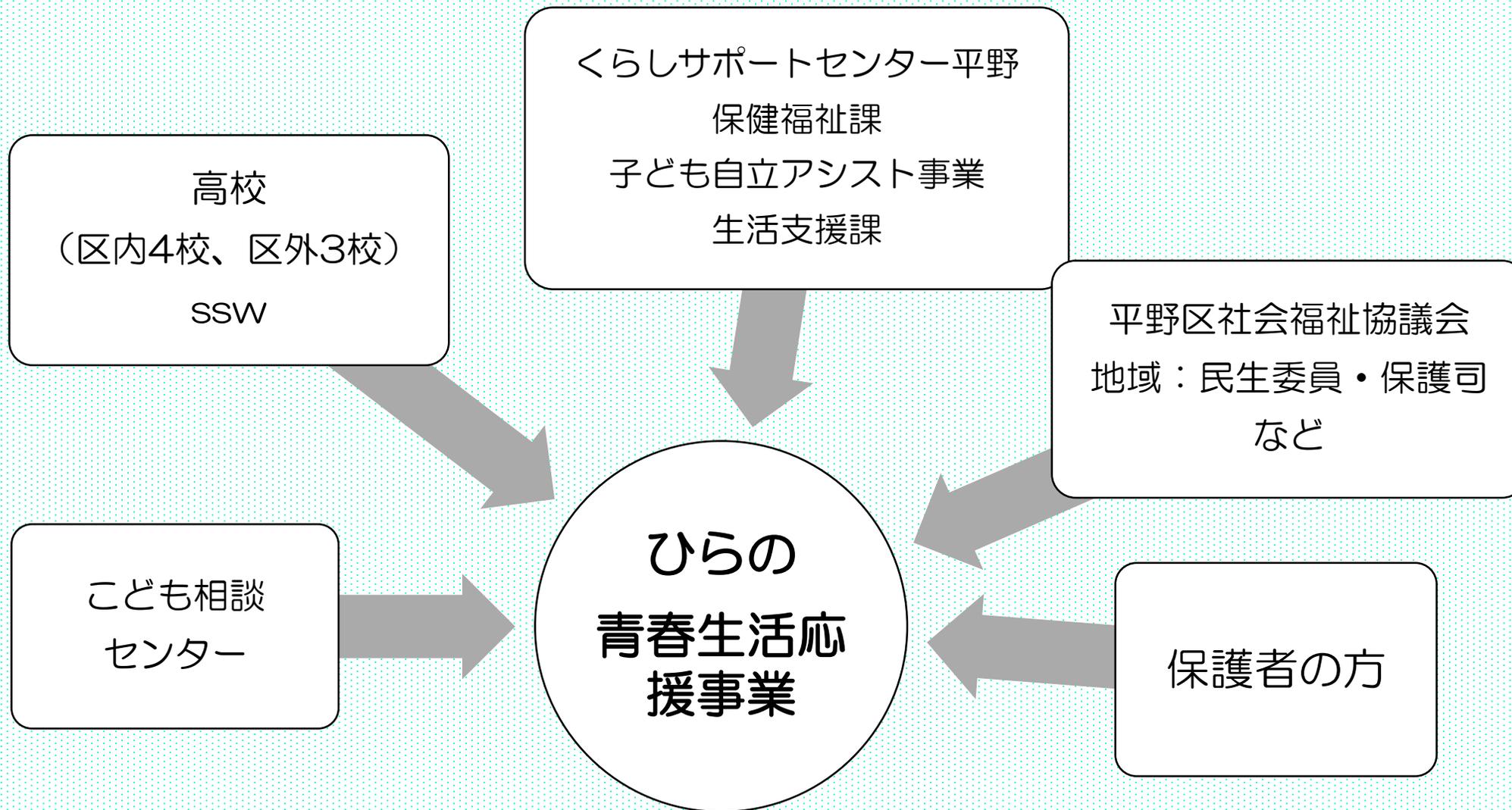
**4階**  
生活支援課

**保健  
福祉課**

**1階**  
ハロー  
ワーク

**3階**  
保健師  
さん

# インテークにつながるまで



# データより ①

- 2016年～2021年現在 105名支援
- 相談経路は学校からが一番多く、区・生活保護が次いで多い。2020年は子ども自立アシスト事業からが多く、今年はこども相談センターからの相談が増えた
- 学校種別は連携校からのリファーが多いため、全日制が多い
- 高1での登録が多い。中3からの切れ目ない支援。（また高校生であれば18歳以降の支援もできる）

# データより ②

## 【主訴内容】

- 主訴はなかなか語られない。まれにでる本人の告白や、周囲の発見によって明らかになった数字も含まれている
- 進路不安は毎年存在している
- 虐待サバイバー、ヤングケアラー、ひきこもりなどの若年課題も支援

## 【終結状況】

- 学校定着の生徒は再登録可能。
- 卒業の内訳は就職、アルバイト、専門学校、大学、福祉的就労